

ALOGAの活動について

Mathew John
IFOAM-Organics Asia理事長
ALGOA共同理事



IFOAM-Organics Asiaについて



- 2012年設立
- 会員：18のアジアの国と地域（中央アジアと中東を含む）、230会員
 - 設立時は88会員
- 韓国（本部）、中国、フィリピン、バングラデシュで法的に登録されている
- IFOAM-Organics Internationalのアジアの地方団体



IFOAM-Organics Internationalについて



- 1972年設立
- 会員：132の国、850の団体会員
- ドイツ ボンが拠点
- 世界で唯一の有機農業に関する国際的な総括組織
- 7の地方部局（全大陸・領土を代表）
- 6のテーマ別プラットフォーム（種子、水産養殖、養蜂、畜産、IFOAMの技術革新プラットフォーム、有機栽培農家団体の大際間ネットワーク（INOFO））



IFOAM-Organics Asiaの主な目的

有機分野において、ステークホルダー達を代表する

1. 地方自治体

- アジアの地方政府 (ALGOA (アジア有機農業地域自治体連合))
- アジア以外の地方政府 (GAOD (世界有機地域自治体連合))

2. 若者

- アジアオーガニックユースフォーラム
- ヤングオーガニックアジアネットワーク



3. 女性

- Women in Organic Agriculture in Asia (WOAA)



4. 教育と研究

- ALGOA有機農業基礎コース
- アジア有機農業イノベーション・技術プラットフォーム (OIT)
- 有機農業発展のための教育・研究 (E-ROAD)

5. 国際有機エキスポ (5年毎)

- 有機分野最大の会合



6. オーガニックフェスタアジア (年次開催)

- B2B + B2C 有機見本市 + 消費者交流



ALGOAの現在の状況



- 2015年9月19日に正式発足（9月19日は「アジア有機デー」でもある）
- IFOAM-Organics Asiaの姉妹組織であり、2016年から韓国で正式登録
- 地方政府、民間、IFOAMアジア加盟団体及びアジア地域のパートナーが連携し、有機分野の発展を促進する連合体
- アジアの18カ国・地域に280の加盟団体を有する（2025年現在）



ALGOAの目的



- ・有機農業を発展させる国々への政策支援
- ・有機農業における最良の方法・成功事例と革新に関する情報交換
- ・地方政府職員・専門家と有機農業関係者の相互交
- ・地方政府職員に対する有機農業教育

など



ALGOAの運営



- ALGOAは、ALGOAメンバーである地方政府（「議長職保持者」）が主導し、議長不在時にはIFOAM-Organics Asia会長が支援する
- 議長職はメンバー間で輪番制となり、ALGOA年次サミットで2年ごとに決定される
- 事務局運営費などの運営資金及びプロジェクト資金は、ALGOA議長職保持者によって提供される



ALGOAの活動



- 年次ALGOAサミット
- 年次ALGOA有機農業基礎コース（マスタークラス）
 - 有機農業の基礎を学ぶ7日間の宿泊研修
 - ALGOA及びIFOAM-Organics Asia会員、特に政府関係者及び若年層を対象に提供





제1회 유기농업 육성을 위한 아시아지방정부협의회 정상회의
GOESAN COUNTY, REPUBLIC OF KOREA / SEPT 19, 2015

The 1st ALGOA Summit

The 1st Asian Local Governments for
Organic Agriculture Summit



設立メンバー







(2017年5月)

メンバー交流 木更津がブータンを訪問

(2015年9月 第一回ALGOAサミット)



(2017年5月 交流訪問)



(2016年11月

メンバー交流
ビスリグ市が木更津を訪問)



ALGOA有機農業基礎コース

ALGOA有機農業基礎コース (ALGOA OFC) は、ALGOAプロジェクトの一環として、地方政府職員およびIFOAMアジア加盟団体向けに提供される有機農業研修プログラムです。

2021年度ALGOA有機農業基礎コースへの応募は、ALGOA加盟団体、IFOAMアジア加盟団体、およびアジア地域のパートナーを対象とします。ALGOA加盟団体およびIFOAMアジア加盟団体の代表者を優先的に受け付けます。

2016年のALGOA OFC開始以来、既に200名以上の研修生が本コースを修了しています。



ALGOA有機農業基礎コース(OFC) / マスタークラス

- 政府関係者、若手農家、ALGOA及びIFOAMアジア加盟団体を対象とした有機リーダーシップに関する7日間の合宿研修
- OFCの下で250名以上が研修を受講
- 2016年OFCの第一期修了生がアジアオーガニックユースフォーラムを設立—現在はヤングオーガニックスグローバルネットワークへと発展し、年次世界有機青年サミットを主催



フィリピンの4つの地方自治体の首長が 2016 OFCを修了



木更津 OFC (2016年11月)



キルギスタン OFC (2017年7月)



最年長受講者は65歳 / 有機栽培農家

OFCマスタークラス2022の修了者



第5回ALGOAサミット（2019）での発展

- ・ 第1回有機農業政策国際会議と併催
- ・ アジア圏外パートナーとの初接触
- 本会議は2020年の「**世界有機地域自治体連合（GAOD）**」設立に極めて重要な役割を果たした
- 2020年より、年次開催のALGOAサミットは「**ALGOA & GAODサミット**」に名称変更



世界へ羽ばたくALGOA-世界有機地域自治体連合の誕生



ALGOAとイタリア・ローマに本部を置く国際生態地域ネットワーク(INNER)は、GAODの設立につながった覚書(MoU)に署名した。

なぜGAOD?

・共通の主体と目標

ALGOAとINNERはともに、地方政府やその他の関係者と連携し有機農業を推進している。

INNERが提唱する「有機地区（エコリージョン、バイオ地区、バイオテリトリー）」の概念は、コミュニティ構築、所得創出、地域有機食品システム、都市と農村の交流などを含む有機的発展の包括的構想であり、アジアで進行中だがまだ概念化されていない動きと類似している。

GAOD設立メンバー

GLOBAL ALLIANCE FOR ORGANIC DISTRICTS



<https://www.algoa-organics.org/>



GAODの目的

- 1.有機農業の発展、特に有機地区の創設から生じるプロセス、事例、知識、経験を共有することを促進するため
- 2.世界の他の地方政府（アフリカ、北・南アメリカ大陸、オセアニア諸国、および太平洋諸島諸国・地域（PICT））を協力ネットワークに招き入れ、ダイナミックなグローバル有機食品システムの模範を形成する。



GAODの現状

1. ALGOAおよびINNERの全会員は自動的にGAODの会員となる

- ALGOA: 280会員 (主にアジア)
- INNER: 60有機地区 (主にヨーロッパ)



GAODの運営

- ALGOA会長とINNER会長がGAODの共同議長を務める
- 運営は専門家委員会とワーキング部会の部会長によって決定される
- 7つのワーキング部会が設置されている：
 - ワーキング部会1：有機地区統合管理
 - ワーキング部会2：観光と美食
 - ワーキング部会3：天然資源管理とエネルギー生産



GAODの運営

- ワーキング部会4：食品加工、流通、消費、食料・栄養の安全保障、品質、健康
- ワーキング部会5：社会農業、コミュニティ・エンフォースメント、都市と農村の連携
- ワーキング部会6：コミュニケーション
- ワーキング部会7：若者と有機農業



GAODのイベント – 有機地域世界大会



2nd Organic Districts World Congress

One Health, One Planet

Idanha-a-Nova - Portugal
from July 29 to August 2, 2024



International
Network of
Eco
Regions



第三回有機地域世界大会（2025年8月 中国大同市）

第三届世界有机示范区大会 暨第十二届大同·车河有机农业论坛

THE 3RD ORGANIC DISTRICTS WORLD CONGRESS
THE 12TH DATONG CHEHE FORUM ON ORGANIC AGRICULTURE

全域有机助推县域经济高质量发展

Holistic Organic Agriculture Empowering High-Quality County-Level Economic Development





特別オーガニックイベント



第2回学校給食と公共調達に関する国際会議 – 「子どもを置き去りにしない！」

台湾新北市；2024年10月16日～17日

www.ifoamasia.org



Thank You!

